

みずほCustomer Desk Report 2024/09/10号(As of 2024/09/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	142.80 AUD/USD
TKY 9:00AM	142.48	1.1087	158.01	1.3138	0.6669
SYD-NY High	143.80	1.1090	158.73	1.3142	0.6688
SYD-NY Low	141.95	1.1034	157.42	1.3068	0.6648
NY 5:00 PM	143.15	1.1034	157.99	1.3073	0.6661
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,829.59	484.18	日本2年債	0.3900%	0.0200%
NASDAQ	16,884.60	193.77	日本10年債	0.8900%	0.0400%
S&P	5,471.05	62.63	米国2年債	3.6698%	0.0164%
日経平均	36,215.75	▲ 175.72	米国5年債	3.4877%	▲ 0.0070%
TOPIX	2,579.73	▲ 17.69	米国10年債	3.7014%	▲ 0.0122%
シカゴ日経先物	36,230.00	950.00	独10年債	2.1705%	0.0005%
ロンドンFT	8,270.84	89.37	英10年債	3.8545%	▲ 0.0330%
DAX	18,443.56	141.66	豪10年債	3.9520%	0.0540%
ハンセン指数	17,196.96	▲ 247.34	USDJPY 1M Vol	12.33%	▲ 0.57%
上海総合	2,736.49	▲ 29.32	USDJPY 3M Vol	11.60%	▲ 0.48%
NY金	2,532.70	8.10	USDJPY 6M Vol	10.75%	▲ 0.24%
WTI	68.71	1.04	USDJPY 1M 25RR	▲ 2.11%	Yen Call Over
CRB指数	269.60	2.74	EURJPY 3M Vol	10.47%	▲ 0.45%
ドルインデックス	101.55	0.38	EURJPY 6M Vol	9.95%	▲ 0.25%

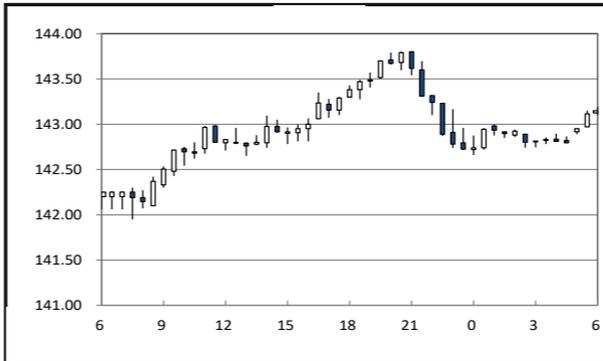
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月9日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	2Q 0.7%	0.8%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	2Q 2.9%	3.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	2Q 3.2%	3.0%
	08:50	日 貿易収支	7月 -¥482.7b	-¥427.6b
	10:30	中 CPI(前年比)	8月 0.6%	0.7%
	10:30	中 PPI(前年比)	8月 -1.8%	-1.5%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	7月 1.1%	0.3%
	00:00	米 NY連銀1年期待インフレ	8月 3.00%	-

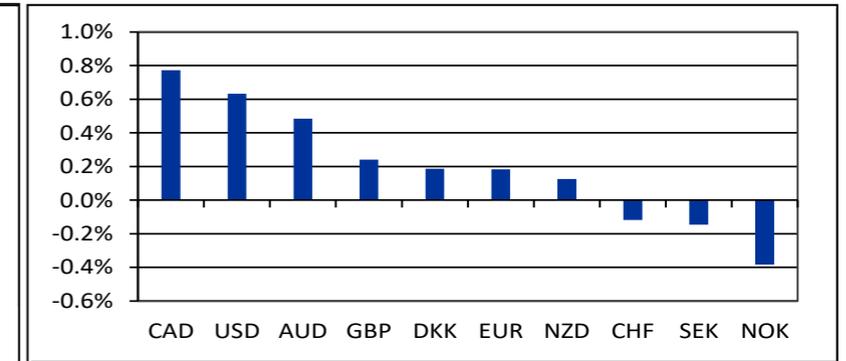
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月10日	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	7月 5.1%	5.4%
	15:00	英 失業率(3ヵ月)	7月 4.1%	4.5%
		中 輸出(前年比)	8月 6.6%	7.0%
		中 輸入(前年比)	8月 2.5%	7.2%
		中 貿易収支	8月 \$81.1b	\$84.65b

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-143.80	1.1000-1.1080	157.00-158.80

【マーケット・インプレッション】

本日ドル円は上値の重い展開を想定。先週末の米雇用統計を無難な形で通過し、週明けは買戻しが入ったものの、雇用統計後の高値(144.20)を超えられず反落している。今週は米国インフレ指標の発表を複数控えており、前月に続き緩やかにせよデイスインフレの流れが確認できればFRBの利下げ幅拡大への思惑が意識されそう。また東京時間明日午前に予定している米大統領選の候補者討論会のハリス・トランプ初対決にも注目が集まる。前回6/27のバイデン・トランプ討論会時の為替の反応は限定的となったが、双方個人攻撃を除けばインフレ対策や税制面の議論が本格化するはずであり、金利動向を含めた市場の反応に注意したいところ。

東京	東京時間のドル円は142.48レベルでオープン。日経平均が下げ幅を縮小する展開となる中、ドル円は143円台前半まで上昇。ただその水準では売り圧力に上値を抑えられ、結局142.95レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.95レベルでオープン。米金利の上昇を背景に底堅く推移し、143.80まで上昇した。ただ先週末の高値近辺では上値が重くなり、結局143.60レベルでNYに渡った。欧州株も先週末の下落を受けた調整となり、全面高となった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台前半でスタート。日経平均株価の軟調な展開を横目に141.95まで下落する場面もあったが、その後は日本株が下げ幅を縮小させたことや、米金利の上昇も相まって、徐々に値を戻し、143.60レベルでNYオープン。午前中は上昇していた米金利が低下する展開が重しとなり、142.66まで売られる。しかし、続いて発表された米8月NY連銀1年先のインフレ期待が予想を上回ると下げ渋り、142.90付近まで戻す。午後は終盤にかけてドルの買い戻しが強まり、143.20付近まで反発し、その後143.15レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台後半でスタート。米金利の上昇を受け、じり安での推移が続き、1.1045レベルでNYオープン。午前中は独金利の低下に伴った売りが優勢となり、1.1040付近まで値を下げる。午後は一時1.1054まで戻す場面も見られたが、その後再び失速し、1.1034レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。